



寺迫氏は、今月も多くの暗い流星を観測されています。

次に3月の望遠鏡流星の出現数変化を（表－3）に示します。

先に述べたように冬型の気圧配置が長続きしないために、3月の望遠鏡流星の出現状況を明らかにすることができなかった。天候に左右されるのが、自然現象を相手にする観測の宿命です。11月のしし群の時の天候を心配するのもそのせいです。

ところで、1月の望遠鏡部門報告の集計が違っていました。年度末で慌てて作成したために前月の観測報告が混じったまま印刷してしまいました。訂正については別項の通りです。今後気をつけますのでお許し下さい。